

明石工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	国語 I -1	
科目基礎情報							
科目番号	6101		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	建築学科		対象学年	1			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	『精選現代の国語』(明治書院)、『精選言語文化』(第一学習社)、『新訂総合国語便覧』(第一学習社)						
担当教員	小西 洋子						
到達目標							
1) 論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約することができる。 2) 文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるすることができる。 3) 日常的に用いられる漢字や語句を正しく理解し、活用することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	構成と展開を説明すること、大意をとらえて要約することができる。		構成を説明し、要約することができる。		要旨は分かるが、構成をとらえられない。		
評価項目2	人物形象から主題をとらえ、批判的に考察することができる。		登場人物の整理ができ、主題がとらえられる。		人物造型の違いは把握できるが、主題がとらえられない。		
評価項目3	日常的に用いられる漢字や語句を正しく理解し、日常生活や研究の中で自由に活用することができる。		日常的に用いられる漢字や語句に関心を持ち、吸収しようとする心がある。		日常的に用いられる漢字や語句について、理解が十分でない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	小説や評論、古典文学など、様々な文章を読むことを通して、豊かな感性と論理的思考力を養い、的確な読解力と表現力を獲得する。						
授業の進め方・方法	講義形式を基本とする。随時、小テストや課題を課す。						
注意点	国語は理科系科目も含めすべての教科の基礎であることを念頭に、予習・復習を怠らず積極的に授業に取り組むこと。評価の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス、「ふ」と「思わず」の読解	授業の進行・準備物について理解することができる			
		2週	「ふ」と「思わず」の読解	テキストの構成をとらえ、内容を適切に理解することができる			
		3週	「ふ」と「思わず」の読解	内容を理解した上で、自分の意見を述べるることができる			
		4週	「羅生門」の読解	表現に即して内容を理解することができる			
		5週	「羅生門」の読解	表現に即して登場人物の人物像を読み取ることができる			
		6週	「羅生門」の読解	登場人物たちのやり取りを適切に理解し、物語の展開を読み取ることができる			
		7週	「羅生門」の読解	主題を理解し、作品に対する自分の意見を述べるることができる			
		8週	「羅生門」の読解	作品の特徴を文学史的位置を含めて理解することができる			
	2ndQ	9週	「上手い、おもしろい」の読解	テキストに用いられている語句・表現を適切に理解することができる			
		10週	「上手い、おもしろい」の読解	テキストの構成をとらえ、内容を適切に理解することができる			
		11週	「上手い、おもしろい」の読解	内容を理解した上で、自分の意見を述べることができる			
		12週	「枕草子」の読解	文学史上の評価を理解し、文意をとらえることができる			
		13週	「枕草子」の読解	適切に解釈し、教科書の設問に答えることができる			
		14週	唐詩の読解	漢詩のきまりを理解した上で個々の作品を鑑賞することができる			
		15週	唐詩の読解	漢詩のきまりを理解した上で個々の作品を鑑賞し、作品を評価することができる			
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	人文社会科学	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要旨・要点をまとめることができる。	2	前1,前2,前9,前10		
			論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるることができる。	2	前2,前3,前10,前11		
			社会生活で使われる語彙(故事成語・慣用句等を含む)を増やし、思考・表現に活用できる。	2	前1,前4,前5,前9		

				文学作品（小説・随筆・詩歌・古典等）を文脈に即して鑑賞し、そこに描かれたものの見方や登場人物の心情を説明できる。	2	前4,前5,前6,前12,前14
				言語的・文化的教養（語彙・知識等）に広く関心を持ち、そこで得られた知識や考え方を効果的な表現に活用できる。	2	前6,前7,前13,前15
				言語作品の読解を通して、人間や社会の多様な在り方についての考えを深め、自己を客観的に捉えたり自分の意見を述べるができる。	2	前6,前7,前8,前13,前15
				常用漢字を中心に、日本語を正しく読み、表記できる。	2	前1,前4,前5,前9
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集し、それを整理、分析できる。	2	前7
				整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開、表現方法を工夫し、報告・論文を作成できる。	2	前7
				課題や条件に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	前3,前11
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	2	前3,前11
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	前3,前11
				分野横断的能力	汎用的技能	コミュニケーションスキル
目的に応じた適切な方法で自分の考えや主張を伝えることができる。	2	前3,前11				
多様な他者との間で良好な人間関係を形成するための行動ができる。	2	前3,前11				
情報収集・活用・発信力	情報収集・活用・発信力	デジタルツールを含む種々の手段や各種メディアを活用し、情報を収集できる。	2			前7
		信頼性・妥当性・有効性などを考慮しながら情報を検証・評価できる。	2			前7
		複合的な事象や出来事を分析できる。	2			前8
思考力	思考力	情報や主張を批判的に検証できる。	2		前8	
		情報や主張を説得的に提示するための方法を考えることができる。	2		前8	
		学習状況、学習成果を把握し、それぞれの特徴、必要、目的に応じて学習計画を考えることができる。	3		前1	
基盤的資質・能力	継続的な学習と学びの目的	継続的な学習と学びの目的	主体的、継続的な学習の実現に向けて自分の学習活動や学習内容を点検し、改善を検討できる。		3	前15
			専門分野以外の多様なものの捉え方や視点の重要性を認識し、受け入れることができる。		2	前4,前12,前14
創造性・デザイン能力	創造性	創造性	多角的な視点から事象を分析し、対応すべき問題を定義できる。		2	前8,前13,前15
			様々な知識を統合的に活用しながら、あらかじめ答えが与えられていない問題に対する解決方法を考えることができる。		2	前8,前13,前15

評価割合

	試験	小テスト	態度	その他	合計
総合評価割合	80	10	10	0	100
基礎的能力	80	10	10	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0